

カチオンHC

高濃度アスファルト乳剤

(JEAAS 日本アスファルト乳剤協会規格 PK-H)

高濃度浸透用
表面処理用
防塵処理用
中央分離帯アスファルトシール工

はじめに

カチオンHCは高濃度アスファルト乳剤です。カチオンHCのアスファルト含有量は65%以上であり、アスファルトの粘着性が永く保たれ、特に冬季にその効果が発揮されます。またカチオンHCの施工は温度65℃～75℃で散布しますので分解が速くセットも良好で交通開放を直ちに行っても荒らされる心配がなく、耐久性のある路面が得られます。

用 途

①高濃度浸透用 ②表面処理用 ③防塵処理用 ④中央分離帯アスファルトシール工

▼散布状況



▼仕上がり表面



種類と用途

(JEAAS 日本アスファルト乳剤協会規格)

種 類	記 号	用 途
高濃度アスファルト乳剤	PK-H	浸透用及び表面処理用

日本道路公団土木工事共通仕様書
瀝青材散布工 中央分離帯アスファルトシール工

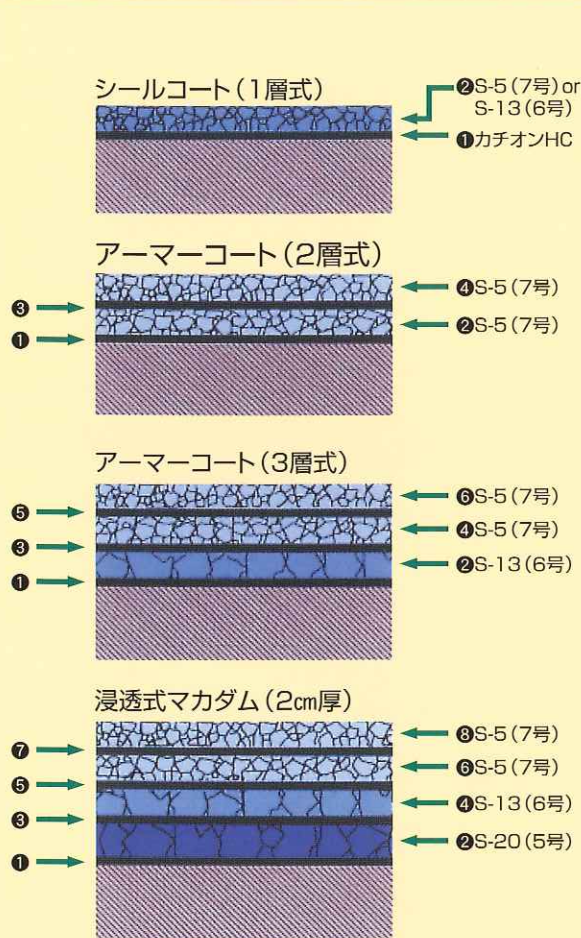
材 料	標準使用量	散布温度	適 用
アスファルト乳剤	0.8～1.2 ㍉/㎡	常温(加熱する必要がある場合は監督員の指示する温度)	第1層目
高濃度浸透用乳剤 (PK-H)	2.0～2.6 ㍉/㎡	同上	第2層目 第3層目

カチオンHC

高濃度アスファルト乳剤

(JEAAS 日本アスファルト乳剤協会規格 PK-H)

カチオンHCの設計例 (100m²当り)



シールコート(1層式)

施工順序	砕石 m ³	カチオンHC	
		散布量 ℓ	
②	S-5 0.5	90	
①	S-13 0.9	130	

アーモアコート(2層式)

施工順序	砕石 m ³	カチオンHC	
		散布量 ℓ	
④	S-5 0.4	110(130)	
③	S-5 0.5	90(70)	
②			
①			
計	0.9	200	

アーモアコート(3層式)

施工順序	砕石 m ³	カチオンHC	
		散布量 ℓ	
⑥	S-5 0.4	110(130)	
⑤	S-5 0.4	140(120)	
④	S-5 0.4	90	
③	S-13 1.3	340	
②			
①			
計	2.2	340	

浸透式マカダム(2cm厚)

施工順序	砕石 m ³	カチオンHC	
		散布量 ℓ	
⑧	S-5 0.4	110(130)	
⑦	S-5 0.5	150(130)	
⑥	S-5 0.5	140	
⑤	S-13 0.7	90	
④	S-20 2.0	490	
③			
②			
①			
計	3.6	490	

注) ()内の数量は寒冷期施工の場合の散布量を示す。

カチオンHCの規格

JEAAS 高濃度アスファルト乳剤 PK-Hに準拠

項目	規格
セイボルトフロール秒 (50°C)s	20~500
ふるい残留分(1.18mm) 質量%	0.3以下
付着度	2/3以上
粒子の電荷	陽(+)
留出油分(360°Cまでの) v/w%	5以下
蒸留残留分(360°Cにおける) 質量%	65以上
蒸留残留物針入度(15°C) 1/10mm ※1	80を超えて300以下

※1 夏期に使用するものの蒸留残留物針入度は、25°Cにおける値とする。

TOA 東亜道路工業株式会社

<http://www.toadoro.co.jp>

本社	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7	TEL 03(3405)1811 代表
技術研究所	〒300-2622 茨城県つくば市要315-126	TEL 029(877)4150 代表
北海道支社	〒007-0825 札幌市東区東雁来五条1丁目1-18	TEL 011(781)8511 代表
東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-3-20 損保ジャパン仙台一番町ビル	TEL 022(225)6591 代表
関東支社	〒106-0032 東京都港区六本木4-11-4 六本木ビル5F	TEL 03(3423)0231 代表
北陸支社	〒951-8057 新潟市月町1988番地フレンジビル2F	TEL 025(228)5333 代表
中部支社	〒461-0011 名古屋市東区白壁1-45 白壁ビル5F	TEL 052(962)1831 代表
関西支社	〒556-0016 大阪市浪速区元町1-4-17	TEL 06(6649)2102 代表
四国支社	〒760-0036 高松市城東町2-9-1	TEL 087(851)6611 代表
中国支社	〒732-0052 広島市東区光町2-14-16	TEL 082(568)2951 代表
九州支社	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-8-31 九州ビル6F	TEL 092(471)6936 代表